

その他（ 7 ）

中国四川省で起きた大地震へ、愛知県からなんらかの応援を望む。被災地の子ども、お年寄りなどへ愛知県から手を差し伸べてあげて欲しい。
(名古屋市、40代男性)

〔回答〕

5月12日に発生した中国・四川省の大地震は、5月26日現在で死者が65,000人を上回る程の歴史的な大災害となり、その甚大な被害の様子が、連日、報道されています。

東海地震を始め地震と隣り合わせに生活している我々にとっては、決して他人事ではありません。また、我が国と交流が進む隣国での大災害に、多くの方が、心を痛めていると思います。

そこで県としましても、地震発生の翌日には、名古屋総領事館を訪問し、見舞状をお渡しし、心よりお見舞いを申し上げました。また、被災者の救済に少しでも役立てたらと、いち早く見舞金の贈呈を決め、その目録を持参した折にも改めてお見舞いを申し上げたところです。

一方、県民の皆様からのご支援をいただくために、愛知県国際交流協会内に募金箱を設置し、6月7日まで募金の受付を行っております。

このような県の対応に対し、名古屋総領事館からは、県民の皆様に対して、言葉や書簡で感謝の意が伝えられております。
【地域振興部】

先の選挙で投票用紙がないのに国会議員になれた人がいるのはなぜか。選挙の投票率アップのために、不在者投票の拡大を行い、また、理由なく棄権する者へは罰金等を課してはいかがか。

(名古屋市、60代男性)

〔回答〕

裁判員の選任に当たり、選挙人名簿を利用することとされておりますので御理解をお願いいたします。

選挙において投票を行うためには、選挙人名簿に登録されている必要があり、登録されるための要件の一つに「引き続き3箇月以上その市町村の住民基本台帳に登録され居住している者」があります。

御指摘の詳細は承知しておりませんが、この要件に該当しなかったため選挙人名簿に登録されず、投票を行うことができなかったものの、被選挙権（選挙により議員につくことのできる資格）については選挙人名簿に登録されていることを要件としないため立候補をすることができたものと考えられます。

棄権者へ、罰金等を課してはどうかではありますが、選挙制度は、公職選挙法に厳格に定められており、御指摘のような制度の拡大・導入には、国において関係法令の改正が必要なものでございます。

いずれにせよ、県選挙管理委員会としても、選挙の投票率の向上のために創意工夫をする必要があると考えており、小・中学校、高校での選挙出前トークの実施、各種選挙での啓発イベントの実施など、様々な啓発活動に取り組んでおりますので御理解と御協力をお願いいたします。

【選挙管理委員会】

以前、「走る県政教室」があった。今日まだ知られざる名所旧跡や、知っているも行ったことのない場所がたくさんある。今一度このようなバスで県内を巡る企画の実現を希望する。

(名古屋市、70代男性)

〔回答〕

愛知県では、貸切バスを利用して県民の皆様にも県の施設や仕事を1日コースで見学してもらい、県政に対する理解と認識を深めてもらうことを目的とした「走る県政教室」を、昭和47年度から平成11年度まで30年間近くに亘って実施してまいりました。

その間、県有施設を中心に、県関連施設を含めた見学コースを設定し、多くの県民の皆様にご利用いただき、県の仕事について理解を深めていただいたところではありますが、長期間に亘り実施する中で、参加者が固定化傾向にあったこと、県有施設みのコースでは人気がなく応募が少なくなってきたこと等に加えて、広報・広聴のあり方も、完成した施設を見学してもらい、体感による意見や感想を県民の皆様からお聴きするという形から、パブリック・コメント制度を始めとして、県政の意思形成段階や計画策定の途中から県民の皆様の声をお聴きし、これを参考にしながら計画等を策定していくという広報・広聴の新しい流れへと移ってきたこともあり、「走る県政教室」は一定の役割を終えたとしたものです。

このたびあなたからいただいたご意見は今後の広報・広聴事業を進めて行く上での貴重な参考意見とさせていただきます。 【知事政策局】

最近、相次いで県職員の不祥事が続いているが、県職員のモラルはいったいどうなっているのか、盗撮、痴漢等、まともな人間がやることではない。 (名古屋市、60代男性)

〔回答〕

県職員の度重なる不祥事があり、県行政に対する信頼を裏切ることとなり、県民の皆様方に心からお詫び申し上げます。

県といたしましては、職員一人ひとりが全体の奉仕者としての自覚を常に持つよう再認識させ、今後こうした不祥事が発生することのないよう取り組んでまいります。

県民の皆様からの信頼の回復に向け、県職員一丸となって努力してまいりますので、今後とも、県行政に対するご指導、ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

【総務部】

中村図書館をホームレスの人が仮眠の場所に使っている。図書館は衛生面等にも気をつけて欲しい。 (七宝町、20代男性)

〔回答〕

今回、中村図書館にご来館いただきました折に不快な思いをされましたことに対しお詫び申し上げます。

図書館にお越しになる方々が快適な環境の中で読書できる条件を整えることは、図書館職員が常に留意しなければならない事柄であると存じているところでございます。ご利用の際にお気づきの点がございましたら、職員にお知らせください。

ご指摘をいただき、今後日々の清掃等を通じ、更に衛生面に留意してまいりますので、ご理

解をお願いいたします。

【名古屋市教育委員会】

設楽ダムの建設が進められているが、寒狭川には太古の昔からオシドリが飛来し、オシドリの天国を作っている。オシドリの里は残して欲しい。

(岡崎市、60代男性)

〔回答〕

設楽ダムの建設予定地は、設楽町清崎及び松戸地内で、オシドリの里の上流約5kmとなっています。

「オシドリの里」について、事業者である国土交通省が行いました環境アセスメントでは、「オシドリの里及びその周辺において、現時点で生息するオシドリ集団は、餌付けによって維持されているものと考えられる」としており、注目すべき種(生息地)としてではなく、「主要な人と自然との触れ合いの活動の場」として、その環境影響評価を行っています。

その評価項目として「**改変の程度**」(工事区域との重複、生息環境等)、「**利用性の変化**」(工事実施による利用の制限等)、「**快適性の変化**」(工事実施による騒音等)について予測した結果、いずれについても、その変化は小さいと予測されています。

また、環境影響評価準備書に対する愛知県知事の意見として、「事業実施区域周辺における人と自然との触れ合いの活動が継続できる」よう、意見を提出しており、それに対する事業者の見解は「地域住民等の意見を踏まえ、関係機関等と調整し、必要に応じて適切な措置を講ずる」としています。

こうしたことから、「オシドリの里」においては、事業による影響は小さく、人と自然との触れ合いの場として継続的な水辺利用が図られると考えております。

今後も、設楽ダムの建設に向けて県民の皆様にご理解・ご協力いただけるよう取り組んでまいりますので、よろしく申し上げます。

【地域振興部】

愛知県の裏金問題にとてもがっかりした。ずっと以前からの伝統のようになっているのかも知れないが、ここで一度すべて見直して体制を作り直してほしい。

(名古屋市、40代女性)

〔回答〕

本年度、不適正な経理がなされていたことが判明し、県民の皆様の信頼を大きく損なうことになり深くお詫び申し上げます。

こうした不適正な経理処理の判明後、全庁的な実態把握と原因究明を行うため、10月20日に「経理適正化推進チーム」を立ち上げるとともに、10月31日には弁護士及び公認会計士を構成員とする「経理適正化外部委員会」を設置し、徹底的な調査を行っているところであります。

また、12月15日には知事を本部長とする「経理適正化対策本部」を設置し、経理適正化に係る再発防止に向けた効果的な対策をしっかりと検討し、二度とこのような不適正な経理処理が行われないようにしてまいります。

なお、「経理適正化対策本部」の活動状況等につきましては愛知県のホームページに掲載しており、今後も随時更新をし、県民の皆様にご報告をしております。

県民の皆様の信頼回復に向け、職員一丸となって努力してまいりますので、今後とも県行政に対するご指導、ご助言を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

【総務部人事担当局人事課】